

●日本共産党の西山とき子参議院議員と府会議員団、同長岡京市会議員団は、2月6日、長岡工場敷地内へのPCB機器埋設問題で、松下電器工業株式会社半導体社に申し入れました。

長岡工場敷地内へのPCB機器埋設問題の全容を急いで明らかにし、 早急に撤去することを求める申し入れ

松下電器工業株式会社半導体社 殿

2003年 2月6日

日本共産党参議院議員

西山 とき子

日本共産党京都府議会議員団 団長 西山 秀尚

日本共産党長岡京市議会議員団 団長 藤本 秀延

1月31日、松下電器産業は、大阪、兵庫、京都のグループ5カ所の工場や跡地で、有害な化学物質のポリ塩化ビフェニール(PCB)を使った部品を敷地内へ埋めていたと発表した。PCBは1968年カネミ油症事件で多数の死者を出し、きわめて危険であるとして72年以降製造・使用が禁止されたものである。現在は「PCB特別措置法」のもと厳密な保管が求められている。そのPCBが、埋設され一部が流失していることは、周辺だけでなく多くの住民を不安に陥れている。

5カ所の工場には、長岡京市の貴社の半導体長岡工場が含まれている。新聞報道では、「長岡工場では3カ所で機器の埋設が分かったが、土壌などからPCBは検出されなかった」、「建物三棟の床下に埋められているとみられ、・・・77年9月ごろから80年7月ごろにかけて埋められたらしい」(「京都新聞」)などと書かれているが、土壌や地下水汚染がないとの確証や説明は地元住民に対して行なわれていない。

また、「今後、計画的に掘りおこし調査をすすめ、適正に処理、保管する」とのことであるが、具体的なことはなにも明らかになっていない。

地元の長岡京市は、1987年、貴社と立ち入り調査を含む「公害防止協定」を結んでいるが、今回の事態を知らされたのは直近の事である。その点でも、貴社のきわめて不誠実な姿勢を示すものであり、責任は重大であると考えます。

したがって、貴社が社会的責任を明確にし、次の点について直ちに実行されるように求めるものである。

- ・現在明らかになっている事実 経過と保管状況について 全容を住民の前にただちに明らかにすること
- ・PCB入り機器などの廃棄物を早急に撤去すること。その計画をただちに明らかにすること。
- ・住民の納得のいく調査を行い、随時、結果を報告、公表させること。 以上